

令和3年度「幼児車内放置ゼロ」巡回活動の結果について

本活動の結果につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

《報告事項》

平成17年8月1日からの活動開始以来、本活動も17年目を迎えました。

今年の夏も猛暑となったことに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止にも配慮しながらの取組みとなる中、例年同様、1社で複数の報告書を提出された組合員もあり、本活動に対する取組みへの関心の高さと熱意が感じられ、また、特別会員、賛助会員にもご協力いただきました。

なお、平成18年、平成19年、平成23年、平成27年、平成29年、平成30年においてそれぞれ発見事例があり、平成17年からの活動開始以来、組合員10社により15名の幼児を発見しておりますが、幸いにも今年は、発見事例はありませんでした。

■活動を実施した組合員からの報告

【総括】

- ・業界のイメージ向上も含め、今後も子どもの命を守ることについての活動を継続して行きたい。
- ・寒暖の差が大きかったので、涼しい日も巡回するとともに、ファミリーカーや「子供が乗っています」のステッカーが貼ってある車両も注意して見るようにした。
- ・気温が非常に高く、特に8月は巡回の必要があったが、巡回する側もマスクをしているため、熱中症などへの配慮が必要だと感じた。
- ・令和3年も活動中に幼児の車内放置事案がなかったことに安心すると同時に、活動に協力することができて良かった。
- ・巡回活動中に幼児の車内放置を発見したことはないが、ツイッター等では未だに発見事例があるので、必要な活動だと思った。
- ・ホールへの出入りもはばかれる状況で、コロナ禍での巡回活動の難しさを痛感した。
- ・取引先はもちろん、プライベートでホールに行った際にも駐車場を巡回することが習慣になった。車内で休憩している人はいたが、幼児等は確認されなかった。今後も引き続き巡回を続ける。

【特記事項】

- ・車両の後部はスモークガラスが多く、ライトを使用しなければ車内の様子が分からなかった。
- ・7月に沖縄で10代後半の男性が熱中症により車内で死亡する事例があった。幼児だけでなく、大人であっても声掛けするべきだと感じた。
- ・駐車中の車内でずっとスマートフォンを見ている人が多く、中を見た時に目が合っただけでちょっと気まずく感じるがあった。
- ・夜は涼しくなってきたものの、座席に小型犬を残している車両を発見したので、ホールのスタッフに通報して事なきを得た。

本年度も「幼児車内放置ゼロ」巡回活動にご協力をいただきありがとうございました。来年度もご協力の程よろしくお願いいたします。